

当院における尿路結石治療の成績に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2024年2月20日～2026年3月31日

〔研究課題〕

当院における尿路結石治療の成績調査

〔研究目的〕

当院における尿路結石治療の成績を明らかにすることです。

〔研究意義〕

尿路結石治療に関して、論文や学会などで様々な施設から排石率や合併症発生率などの成績が報告されています。実際に当院で尿路結石治療を受けることになる患者様にとっては、これらの一般的な治療成績と同様もしくはそれ以上に、当院の詳細な治療成績は極めて重要な情報になります。尿路結石手術の安全性、治療後の尿路結石再発などの確率、およびそれらに関連する項目を明らかにすることで、患者様に最適な診療方針を提示することができるようになります。

〔対象・研究方法〕

2014年1月1日から2023年7月31日にかけて当科で尿路結石治療を受けている患者様を対象とします。手術当時18歳未満の患者様は除外します。対象患者様の画像データ(CT/XP/核医学など)を含め診療録より得られる臨床情報(診断・年齢・性別・身体測定値・家族歴・既往歴・検体検査・画像診断・手術所見を含めた治療内容・治療経過など)を集計し、完全排石・再発・合併症発生などの治療成績を調査し、その治療成績に関連する因子を明らかにします。集計したデータはKaplan-Meier法やCox比例ハザードモデル、多変量ロジスティック回帰分析といった手法で解析します。なお、本研究のために追加の診療行為は行われず、試料の採取も行われません。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属溝口病院

〔個人情報の取り扱い〕

研究に利用する情報は、患者様のデータ収集時に研究用IDを付与し、個人情報を削除して管理します。また研究終了後に電子化したデータセット等を倫理委員会事務局に提出し、帝京大学臨床研究センター(TARC)で10年間保管後廃棄します。得られた研究結果は、学会発表や学術論文として公表される予定です。公表されたとしても、個人が特定できるような情報が開示されることはありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 横山 みなと 職名 教授
所属： 帝京大学医学部附属溝口病院 泌尿器科
住所： 神奈川県川崎市高津区二子 5-1-1 TEL:044-844-3333(代表) [内線 3283]